

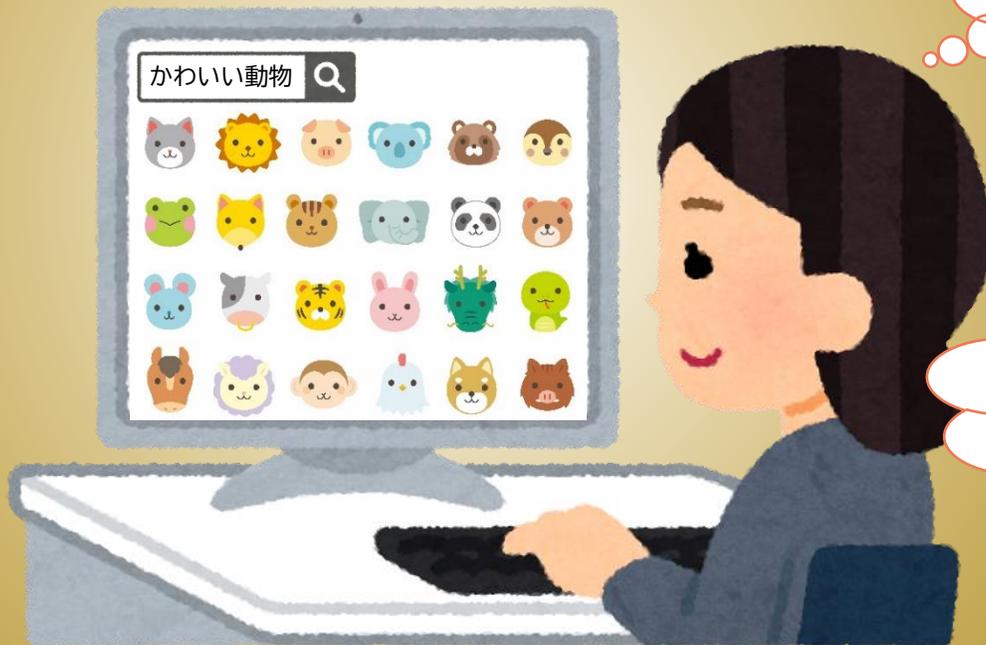
A 3D geometric graphic consisting of several white and light orange planes forming a complex, angular shape, resembling a stylized letter 'L' or a cube's corner.

学びのアップデート
Learning Updates

- 掲示物やホームページ掲載のイラストを再確認しましょう
- 偏った情報ばかりに触れる子供たち（フィルターバブルについて考える）
- 発達段階に応じて、SNS学校ルールをアップデートしていきましょう
- すぐに試せるタイピング教材「ワンミニッツタイピング」を公開しました

■ イラストを画像検索で検索したことはありますか？

画像検索で学校だより
に使う画像をダウン
ロードしよう！



右クリックでダウン
ロードして…

フリー画像を検索したから
自由に使えるよね

この行動は、大切なことを確認しておらず、あとで**損害賠償請求**を受けるかもしれません。次のページで確認しましょう。



● 掲示物やホームページ掲載のイラストを再確認しましょう

国内の学校がイラストを無断使用し賠償請求される事案が複数起きています。
利用規約をよく確認する必要があります。

(例) 利用規約はイラスト配布サイトごとに異なります

イラストサイト「A」		イラストサイト「B」
必要なし	許諾の有無	連絡して許諾を得ることが必要
公序良俗に反しない範囲で可能	加工や編集の可否	不可
不要	出典の表記	必要 ネット掲載時はリンクも必要
20点まで利用可	利用時の制約	何点でも利用可
無料	利用時の料金	1点につき10,000円 (無断使用時は20,000円請求)

どうしてもBのサイトのイラストが必要なら、利用料金を払うなど規約を守って使いましょう。

「知らなかった」では済まされません。

1月に都内公立学校向けに
啓発チラシを発出しました。

そのイラスト、本当に使っても大丈夫？



Web上のイラストを学校が無断使用して、
数年後に賠償請求される事案が発生しています。

事例1
学校だよりの運動部の
活動を紹介する記事にイ
ラストを使用し、ホーム
ページに載せたところ、
約1年半後に約17万円を
請求された。

事例2
給食通信の記事にス
ポーツ競技のイラストを
使用し、ホームページに
載せたところ、約4年後
に約30万円を請求された。

イラストを画像検索をした後に **利用規約** を確認
する必要があります。

利用規約は
ここを確認！

- 許諾の必要の有無
- 加工や編集の可否
- 出典表記の必要の有無
(クレジット、リンク)
- 利用時の制約の有無
(掲載数、掲載手段)
- 利用料金

公開している文書・資料等のイラストに問題ないか点検しましょう。

学校教育では著作権法第35条によりさまざまな著作物の利用が認められていますが、あくまでも授業の過程における利用が対象です。保護者に配布する資料やホームページ等に掲載するイラストは第35条の対象外です。

利用規約を守って、著作物を適正に利用
しましょう。



実践事例通信「学びのアップデート」第19号でもWeb上のイラスト利用について発信しています。
https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/files/ict_utilization/19.pdf

令和7年1月 東京都教育庁総務部デジタル推進課 ICT活用・情報教育班
kyoiku_ict_joho@section.metro.tokyo.jp

👉 関連記事 (学びのアップデート 第19号)

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kyoiku/19_9

● 偏った情報ばかりに触れる子供たち（フィルターバブルについて考える）

■ "おすすめ"ばかりに触れていると・・・

今年の球技大会の競技は「野球」に決定！他のスポーツは却下で。

クラスTシャツも、野球テイストのデザインにします。盛り上がるだろうな。



球技大会 実行委員長

理由？
だって今、野球が流行しているから。
みんな野球したいでしょ。

※このイラストは偏った情報に触れた状況をデフォルメして表現したものです。

なぜ、この生徒は「野球」だけに興味を寄せ、流行していると断言しているのでしょうか。



● 偏った情報ばかりに触れる子供たち（フィルターバブルについて考える）

フィルターバブルとは

アルゴリズム機能で配信された情報を受け取り続けることにより、自身の興味のある情報しか触れなくなる現象

フィルターバブルが起きる仕組み



当初表示される動画の順番



動画の順番がアルゴリズム機能により変化する
視聴回数ではなく、動画の視聴時間によっても変化します

野球の動画は、
何回見ても
面白いよね！

サッカーの動画は、
スキップしよう！



表示される動画の順番

自身と似た考え・意見だけに触れていると、異なる意見の情報が排除（フィルタリング）されるため、**反対の存在そのものに気付かなくなってしまいます。**

自身と異なる関心事や意見をもつ人がいることを理解させることが必要です。

適切に情報に接していくために

このような方向性で指導してはいかがでしょうか。

- ・自分が得ている情報が一方的になっていないか疑う。
- ・意図的に別の考えに触れる。
- ・自分の考えと反対の人をフォローするなど、異なる考えを積極的に入手する。



公式情報を確認することに加え、**様々な考え方に触れ、議論する経験をする**ことが大切です。

東京都の教材

考えよう！デジタルリテラシー
第7章「同じニュースサイトなのに
記事の内容が違うのはなぜ？」

生徒にフィルターバブルのアルゴリズムも考えさせる教材です。

https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/digital_literacy/jirei7.html



入手する情報が偏りやすい時代です。まずは自覚することから始めましょう。



発達段階に応じて、SNS学校ルールをアップデートしていきましょう

東京都では「SNS東京ルール」を定め、改訂を行いながら各学校に周知し、SNSの利用に関する指導を進めています。各学校はこのルールを踏まえ、SNS学校ルールの策定及び見直し、SNS家庭ルールの策定の啓発に取り組んでいます。

東京都の取組

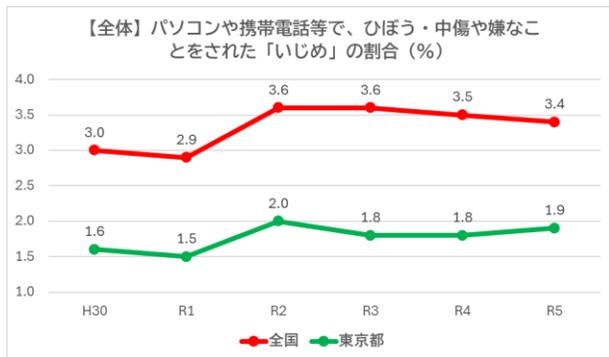
SNS東京
ルールの周知



各学校で
SNS学校ルール
を策定

- 1 スマホやゲームの一日の合計利用時間、使わない時間帯・場所を決めよう。
- 2 必ずフィルタリングを付け、パスワードを設定しよう。
- 3 送信前には、誰が見るか、見た人がどのような気持ちになるか考えて読み返そう。
- 4 個人情報をお教えたり、知らない人と会ったり、自撮り画像を送ったりしない。
- 5 写真・動画を許可なく撮影・掲載したり、拡散させたりしない。

文部科学省や東京都が実施しているいじめ発生時の態様に関する調査において、「パソコンやスマホでの誹謗中傷によるいじめの割合」は東京都は全国平均を大きく下回りました。



出典：東京都教育委員会、児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/administration/statistics_and_research/delinquency.html

文部科学省、児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1302902.htm

SNS学校ルールの点検

内容は正しくても、子供に伝わりにくい、曖昧なルールになっていませんか？

- ・人の嫌がることは書かない
- ・勉強以外のアプリは使わない
- ・個人情報を書きこまない

嫌がることって？



個人情報って？

こんなアプリを使ったら役立つのに、だめなの？



- ・悪口は絶対に書かないようにしよう
- ・使う場面を考えてアプリを使いこなそう
- ・顔が映る写真は許可をもらおう

SNS学校ルールの見直し

ルールを発達段階に応じてアップデートして、よりよく使うためのルールにしていくことが必要です。

発達段階を踏まえた指導



指導資料を公開しています

<https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/SNStokyorule.html>



児童・生徒同士や、保護者・子供たちとの話し合いが大切です

SNS学校ルールを設定するだけでなく、時代の変化や子供の成長過程に応じて、ルールを柔軟に変えられるよう取組を進めましょう。



すぐに試せるタイピング教材「ワンミニッツタイピング」を公開しました



「とうきょうの情報教育」にタイピング教材を公開しました。初心者から上級者まで幅広いレベルに対応しています。ユーザー登録も不要。すぐにトライできます。タイピングの達人への成長をすすめてみましょう。

・親しみやすく・取り組みやすく

レベルや出題内容を一新し、3つのモードを用意（しりとり、短い言葉、短文）

・結果画面

名前を書いて保存可能

ハイスコアの表示を追加

トータル文字数によってレベルが表示されます。何度も挑戦して高みを目指しましょう。

タイピング教材はこちら

https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/tokyo_model/contents14/index.html

子供たちに定期的にタイピング練習をさせて、結果を保存するなどして成長を記録させてみましょう。情報活用能力の要「タイピング技術」を向上させましょう。



学習指導要領に示されている資質・能力を育むには、指導方法、学習方法、学習環境等を更新し、最新のものにする必要があります。

また、Society5.0に向けて、ICT機器及び環境というハード面と、それらをどう利用していくか、授業そのものをどのように構成するかというソフト面の両方のアップデートが求められています。

そこで、これからの「学び」を最新のものに「アップデート」していただくことを願い、本通信のタイトルを『学びのアップデート』としました。東京都教育委員会のホームページにも掲載する予定です。

学びのアップデート

Society5.0に向けた一人1台端末の活用のための実践事例通信
第26号 令和7年2月12日発行 東京都教育庁総務部デジタル推進課